

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

明治4年の「市学校」創設を起源とする本校は、本年度で145年目を迎える歴史と輝かしい伝統を誇る学校です。これまで在職した先輩方が連綿と築いてきた「梅園の教育」を基盤に、時代を見つめ、次代を見通し、校訓「めあてを高く できるまでやれ」の具現を目指します。



目指す子ども

- ① 自ら考え 進んで学び続ける子ども
- ② 豊かな心を持ち 思いやりのある子ども
- ③ 心身ともに たくましい子ども

(2) 経営方針

- ① 子どもたちが自らの目標に向けて、自信をもち粘り強く努力する教育の推進に努めます。
- ② 子どもも教師も互いにかかわり合うことを大切にする、人間性豊かな教育に努めます。
- ③ 学校、家庭、地域の連携を密にし、広く意見を聞き、学校経営の反映に努めます。

(3) 本年度の重点目標

「梅園百歳」をきっかけに、考えや活動の活動の視野を広げ、自らの目標を設定し、「やればできる」自信をもち、「できるまでやる」粘り強く努力する梅園の子どもを育てます。

< 1 > 知 自ら考え、進んで学び続ける子の育成

- ① 自ら考え、主体的に生き生きと学び合う授業を展開し、子どもが自ら価値判断し、意思決定をする活動ができるようにします。
- ② 個に応じ、個を大切にした指導に努め、自らの目標に向け、見通しをもって活動したり、その活動を振り返ったりすることができるようにします。
- ③ 基礎・基本的な知識・技能の習得と、その活用を通じた思考力・判断力・表現力の育成を図ります。

<2> 徳 豊かな心を持ち、思いやりのある子の育成

- ① 生命を大切にすると心や他人を思いやる心、善悪の判断などの規範意識等を、道徳の授業や各教科の授業等を通して育てます。
- ② 「梅園百歳」記念プロジェクト活動（※）を通して、学校・学区をよりよく創り上げ、また、友達への思いやり、愛校心、郷土愛を育てます。
- ③ 学年間での交流活動を重視して、上・下級生を大切にすると心を育てます。特に1年と6年、2年と5年、3年と4年との異学年交流活動を行います。

<3> 体 心身ともに たくましい子の育成

- ① 体育科の授業や体育的行事等の目的的な連携を図り、自らの目標を設定し、それに向けた活動の一層の充実に努めます。
- ② 部活動の活性化を図り、チームや個人の目標実現に向けた指導に努めます。
- ③ 保健指導の充実に努め、健康的で安全な生活習慣を身に付けることができるようにします。

(※) 「梅園百歳」記念プロジェクト活動

本校は、大正5年(1916)現在地に移転して、校名が「梅園」となり、校章に梅の星が加わりました。平成28年(2016)はこの梅園の地に移転して100年となります。その100年を全校の子どもたちで祝い、学校・学区をよりよく創り上げる教育活動です。

(4) 目指す教師

- | | |
|-----------------|----------------|
| ① 子どもとともに歩む教師 | ② 自らを高めようとする教師 |
| ③ 使命感にあふれる教師 | ④ 子どもを見る目のある教師 |
| ⑤ 子どもの心に灯をともし教師 | |

- ① 目指す教師像に迫るために、次のような手立てを、年間の教育活動の中に位置づけて実践していきます。
 - ア 授業や学級経営に生きる現職研修の推進…4月・6月・10月
 - イ 授業研究の推進…年間7回、9教科・領域
 - ウ 教育論文の執筆
 - エ 学校の研究主題・研究の仮説・研究の手立てをもとに研究授業を行い、現職研修誌「梅小移山第33集」の執筆、刊行…3月
 - オ 教員1人1冊の読書記録『この1冊第54号』の発刊…3月
- ② 一方、学級・学校を開き、家庭や地域との連携を深めるために、次のような努力をします。
 - ア 授業、学校行事の積極的な公開
 - イ 校長室だより、学校・学年・学級の通信やホームページの内容充実と公開、情報の積極的な発信
 - ウ 学校評価システムを生かした学校経営の推進…学校評議委員会の実施 年間3回 (7月・12月・2月)
 - エ 子どもの安全と安心を守る「梅園見守り隊」との連携強化